2021年度 中野区
ハイティーン 会議
報告書

ー目次ー

1. ハイティーン会議の概要…………………………………　2

2. ワークショップ…………………………………………　6

3. 報告会………………………………………………………　13

4. 学校グループ生徒らしさ班………………………………　18

5. 学校グループ校則班………………………………………　22

6. ジェンダーグループ………………………………………　26

7. AI グループ…………………………………………………　30

8. 環境問題グループ…………………………………………　34

9. 感想…………………………………………………………　38

10. チャレンジ・アクション…………………………………　46

ハイティーン会議の概要

1. ハイティーン会議ってどんな会議？

　中野区に在住・在学・在勤している中学生・高校生年代が、毎日の生活のなかで気になっていることや疑問に思うことからテーマを決め、さまざまな学年・学校の生徒が集まってワークショップ形式での話し合いや、テーマに沿った専門・関係機関への取材などを行いながら考えを深めて中高生ならではの意見表明につなげていく事業です。
　2021年度で19回目を迎え、28名の中高生が5回のワークショップを通して話し合いをしてきました。

活動報告として、
ワークショップを終えた後に
報告会でまとめた意見を発表します！

2. ハイティーン会議の魅力

中野区ならではの「ハイティーン会議」にはこんな魅力があります！

● 身近な疑問を調べます！

参加したメンバーの中で話し合い、興味がある・気になるテーマをメンバーが自分たちで決定します。議論は活発に進むときもあれば、話し合いに悩むこともあります。時間の許す限り何度も議論し、納得するまで話し合うことで、メンバーたちが自分ならではの意見を持つようになります。

● さまざまなメンバーが集まり、つながりができます！

区内在住・在学・在勤の中高生年代が集まって活動をしていきます。中高生だけではなく、大学生や社会人から構成されるサポーターとの交流もあり、多くの人との出会いがあります。また、お互いの学校の話や趣味の話をしながら、わいわい活動する様子も見られました。

● 専門機関に取材を行います！

話し合いを進めていく中で、専門機関に取材を行い、固まった考えに対して意見をもらいます。普段の生活ではなかなか聞けない、貴重なお話を聞くことが出来ます。（2021年の取材先は12ページに記載されています。）

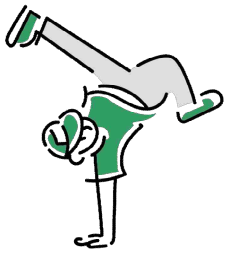
3. メンバー

2021年度もハイティーン会議は地域や学校の垣根を超えてメンバーが集まりました。中には前の年からリピートで参加してくれるメンバーもいます。2021年度は、12の学校の中学1年生から高校2年生が集まりました。

●参加者の学年内訳

	1年生	2年生	3年生	合計
中学生	4	5	12	21
高校生	5	2	0	7

ご参加ありがとうございました！



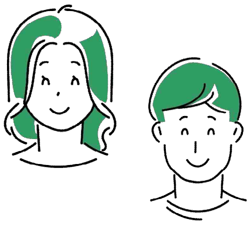
4. サポートするスタッフ

中高生が自由に話し合いを進めていくのに必要不可欠なのが“ファシリテーター”と“サポーター”です。毎回様々なサポートや、話し合いが円滑に進むような楽しい仕掛けを考えてくれます。

●ファシリテーター

ハイティーン会議の中で、ワークショップの進行を促します。

“答え”ではなく、“ヒント”となるような、キーワードなどを投げかけることで、メンバー自身が自分で考えを整理できるよう、背中を押してくれるような存在です。



●サポーター

ファシリテーターと共に、メンバーに近い立場で、助言や資料作成作業のサポートを行う、大学生・社会人のボランティアスタッフです。

ハイ、チーズ！

5. ハイティーン会議の活動

2021年度は、夏休み期間を中心に、7月から活動を開始しました。

①顔合わせ

参加中高生が初めて顔を合わせました。

みんな最初は緊張していましたが、ファシリテーターやサポーター発案のアイスブレイクを通して打ち解けていきました。

②テーマ決め

中高生が気になることなどの項目出しをしながら、テーマを決めました。同年代の仲間たちが日ごろどんなことに興味を持っているのか、お互いに興味津々のようでした。

③ディスカッション・意見交換

決定したテーマごとにグループをつくり、さらに深く掘り下げて話し合いを進めました。自分の考えを発表したり、相手の意見を聞いてみたり、話が行き詰った時は、ファシリテーターやサポーターが手助けをしてくれました。

④取材

話し合いを通じて生まれた自分の意見や新たな疑問をもとに、テーマに合わせた専門機関にリモートで取材を行いました。伺うお話はどれも新鮮で、中高生からはその場でたくさん質問が出ました。

⑤報告会(まとめ)

ワークショップを通して話し合ったことや自分の考えをまとめ、グループごとに参加メンバーの意見発表をしました。

まとめ方もグループで決め、自分たちが考えたことや新しい提案を来場者へ報告しました。

⑥チャレンジ・アクション

メンバー個人がハイティーン会議以外のフィールドで、様々な挑戦をするなど、活動をする中で得た知識や経験から、自主的な行動に繋がっています。

ワークショップ

1. ワークショップって？

　ワークショップとは、メンバーが自分で考え、協力し合い、自由な意見を出し合いながらテーマをもとに展開していく議論形式です。

　ファシリテーターがワークショップの進行を促す役割として、話し合いがスムーズにいくように支援していきます。

▲緊張する様子がスタッフにも伝わる・・・

友達と一緒に！ひとりで！
などなど参加の仕方は様々。

一方、大学生・社会人サポーターはOB・OGが多く、久しぶりの再会を喜んでいる様子でした！

▲回を重ねるごとにサポーターとも
　打ち解けていく様子も見られました。

2. 自己紹介・アイスブレイク

学校・学年や地域を越えて活動をするハイティーン会議では、皆さんの緊張が少しでもほぐれるよう、ワークショップの毎回冒頭にアイスブレイクとして、簡単なゲームや会話の機会を設けました。ここではその一部を紹介します！

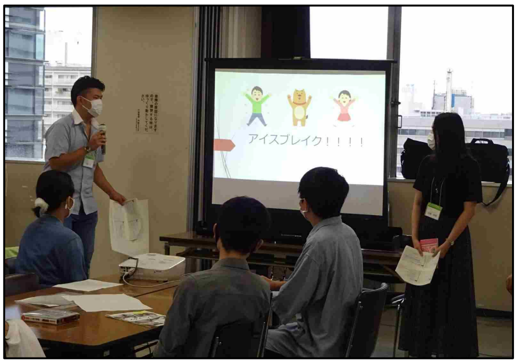
(1) バースデーチェーン

会話は禁止！
ジェスチャーだけを使って、
1月から誕生日順に輪になって並んでみました。

このゲームには
30名近くが参加しましたが
なんと！11月生まれだけいませんでした！

◀大きな輪になりました！

(2) ジェスチャー伝言ゲーム



サポーター考案！
お題はトレンドになっていた
「オリンピックのピクトグラム」
メンバーは照れながらも、じぶんならではの
個性的なジェスチャーをしていました！

ワカラナイ・・・

（3）もしも宝くじで1億円あたったら・・・！？

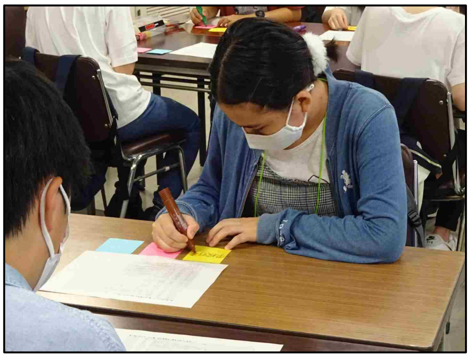
〇お家を建てたい！
〇貯金する！
〇海外留学をしてみたい！　などなど
メンバーの数だけ夢は無限に膨らみます

◀毎回話が弾みます！

3. テーマ決め

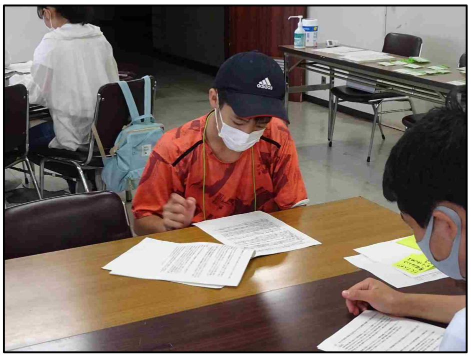
事前アンケートや、メンバー自身が興味のある事項を書き出し、テーマ案を出していきました。ハイティーン会議では、様々なアプローチでメンバーの意見や考えを抽出しますが、ワークショップでは個人の考え方に正解・不正解はありません。自分が考えたこと、感じたことをメンバー同士で共有し、他のメンバーの意見にも耳を傾け向き合うことで、新たな考えが生まれることもありました。

（1）ひとりで（アイデア出し）



◀みんな真剣な様子・・・

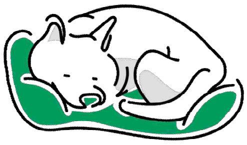
▶自分の気になる事をふせんに書き出していきます。

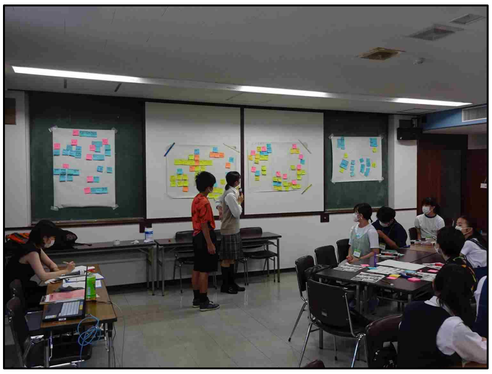


（2）小グループで

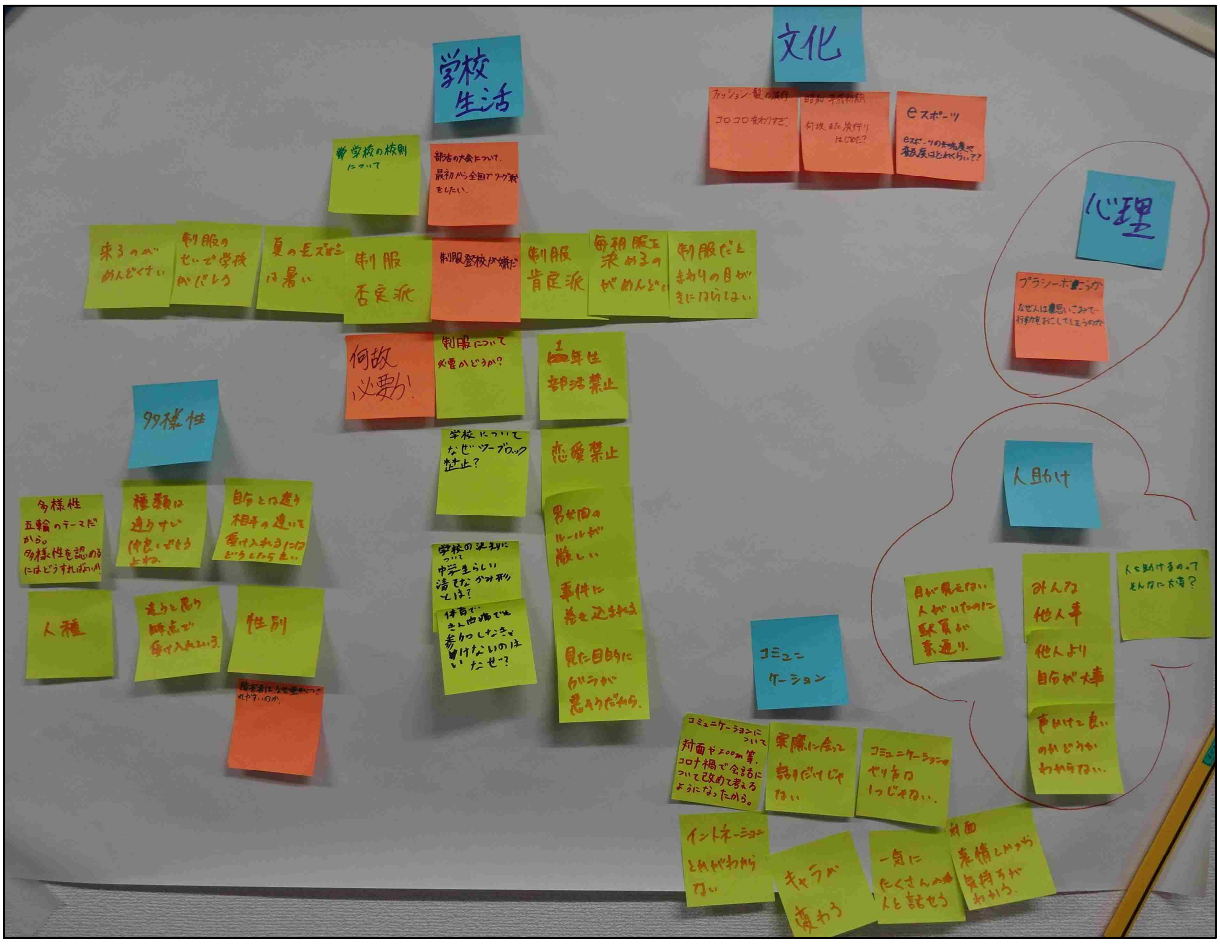
▲サポーターがヒントをくれる場面も

▲出た意見は模造紙上で分類！





◀全員の前で発表！



▲各グループで出た意見は、ふせんを動かしてグループ分けをしました。

（3）決定したテーマはこちら！

大まかにグルーピングしたテーマに、各自興味の順位をつけて、グループを作成しました。2021年度のハイティーン会議では、ワークショップの議論中でも分離・合体を経て大きく5つのテーマとなりました。

	グループ名		内容
1	学校グループ	校則班	校則を変えるにはどうすればいいの？校則ってどうあるといいのだろう？
2		生徒らしさ班	よく「〇〇らしさ」っていうけど、それって何？誰が決めているのかな？
3	ジェンダーグループ		少数派の方たちが生きやすい世の中になるにはどうしたら良いのだろう？自分たちに出来ることは何だろう？
4	AI グループ		AI と共に生きていくとはどういうことだろう？ AI が自分達の生活にどう関わってくるのだろう？
5	環境問題グループ		環境、とくに地球温暖化について、中高生達が出来るアクションって何だろう？

4. ディスカッション・意見交換

希望するグループに分かれて、話し合いを進めていきます。一つ一つの意見を大切にし、自分の考えをメンバーに共有しながら、グループとして考えをまとめていきます。

ファシリテーターやサポーターからのアシスト・アドバイスを得ながら理解や考え、意見を徐々に深めていきました。

意見を共有することで
新たな発見も！

▼グループで出た意見を全体に共有！

まとめ方はグループによって
個性が出ていました！
こちらのグループは
円状にふせんを貼り付けていますね！

▶グループで役割分担！
協力しながら発表します。

5. 取材

各グループで決めたテーマについて詳しい、専門・関係機関に取材を行い、自分達のまとめた意見や考えを伝えたり、疑問を投げかけたり、たくさんの刺激をもらう事が出来ました！

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、Web 会議システムを活用したリモート形式で行いました（史上初の試みでした！）

グループ	取材先
学校グループ生徒らしさ班	工学院大学教育推進機構教職課程科　准教授 安部　芳絵　先生
学校グループ校則班	
ジェンダーグループ	
AI グループ	東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授 板津　木綿子　先生
環境問題グループ	中野区役所　環境部環境課

取材を経て
まとめた内容を報告会で発表だ！

【番外編】 スタッフの皆さんの協力！

実はメンバーの皆さんが知らないところで、ファシリテーターとサポーターの皆さんが、たくさん準備をしてくださっていました！ワークショップの開催前には、毎回リモートで打ち合わせを行い、皆さんの話し合いが円滑に進むように下調べや資料作成をしてくださいました。スタッフの皆さんがいなくては活動をやりきることが出来ませんでした。改めてありがとうございました！

▲かつてはメンバーとして活動してました！

◀出た意見を瞬時に集約！

◀メンバーの発表もサポート！

報告会

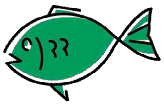
1. リハーサル

各グループごとに直前まで、リハーサルを行いました。
どうすれば自分たちの意見や考えを
しっかりと伝えることが出来るのか、
考えながら発表方法を組み立てていきました。

原稿を読む分担も
再度確認しました！

発表を想定してリハーサルを行い、
本番に備えます！

悩む！



本番をイメージしながら
意見を出し合う場面も！

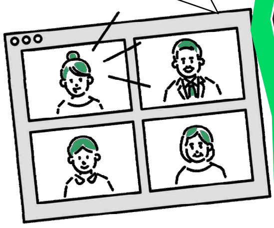
2. 発表

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web 会議システムを利用して来場者数を制限し、オンラインで会場の様子を見ることが出来るようにしました。また、発表方法はグループごとに企画し、パワーポイントを使用したり、グループワークを交えながらの発表などたくさんの工夫が見られました。

欠席だったメンバーの思いも
一緒に発表します

各グループの考えを、
パワーポイントを活用して、区長や教育長をはじめ
地域の皆さんに発表しました！

学校グループ生徒らしさ班は
ご来場の皆さんとグループワークを行いました！
（リモート参加の皆さんにもアンケートで意見を伺いました！）



進行も練習の成果が出ていました！

グループワークの 様子

3. 講評

すべてのグループの発表終了後、
酒井区長と入野教育長から講評がありました。

酒井区長

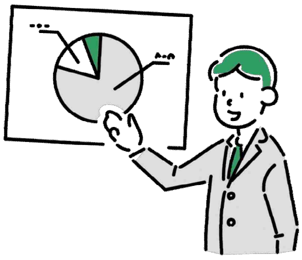
入野教育長

どきどき…

4. メンバー代表挨拶

ハイティーン会議を通して、
日頃思っていることの深掘りや、
大学生・社会人サポーターの方と関わるなど
貴重な体験ができて本当に良かったと思っています。
また、普段はしない、「自分の意見をまとめて発表する」
ということができて、自分の成長に繋がったと思います。
この貴重な体験で成長できたことは、
今後様々な場面で活かしていきたいと思います。

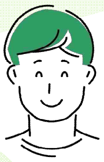
ご参加くださり
ありがとうございました！



今回発表したことは、
学校に意見を持ち帰って、
古い考え方や校則を変えて、
新しい学校をつくれるように
改革をしていきたいと思いました。

5. 報告会参加の大人の声

未来ある子どもたちの意見がたくさん聞けて
いろいろと考えるいいきっかけにもなりました！



どうぞ大人になっても今の
「なぜ？」「どうして？」の心を失わず、
自分の目で見て頭で考えて
自分の言葉で発信できる人でいてください！

非常に興味深い意見発表でした！
学校の枠を越えて活動してこられた
みなさんの努力に拍手をお送りいたします。
次は、発表した意見を行動に移せるよう、
それぞれの日常でがんばってください！

等身大の問いを立てて考えたプロセスや、
本心の言葉で答えている今日の姿に、
感銘を受けました！

写真撮影！

AI グループ！

会場の飾り付け！

リモート対応！

メンバー紹介！

マイクの消毒！

パワーポイント操作！

うまく話せた人も、
緊張してしまった人も、
堂々と発表する姿に感動しました！

各グループ
報告会までのあゆみはこちら